

## APP の「森林保護に関する方針」

本方針は、以下を適用対象として2月1日より発効します。

1. APP および、インドネシアに拠点を有するすべての原料供給会社
2. 中国など、他の地域を含む APP の工場で利用されるあらゆるインドネシア産木材原料
3. すべての将来の拡張計画

### 保護価値の高い森林 (HCVF) と高炭素蓄積 (HCS) 森林

**遵守方針 1:** APP およびその原料供給会社は、独立した HCVF および HCS 評価で特定された、森林に覆われていない地域においてのみ、開発活動を行います。

- 2013年2月1日より HCVF および HCS 評価が完了するまで、自然林伐採は全面的に停止されました。森林と特定された地域の伐採は今後行いません。
- APP は、自社のサプライチェーン全体を対象に初期評価を実施してきました。初期評価では、これまで自然林から得られる木材原料を当社に供給してきたコンセッションで HCS・HCV 評価を重点的に行ってきました。HCV および HCS 地域は保護対象となります。
- HCS については、森林被覆面積および内容を把握する作業が始まっています。衛星解析を実地調査で補完しながら、保護対象地域、さらに植林地として開発可能な低炭素地域を特定していきます。
- HCS 手法により、自然林と小径木や低木あるいは草しか生育していない荒廃地とを識別します。衛星画像と現地分析を組み合わせて、植生を6種類の階層に分類(層化)します。インドネシアではその基準として、高密度森林(HK3)、中密度森林(HK2)、低密度/古い再生林(HK1)、古い低木/再生林(BT)、若い低木(BM)、開墾地/空地(LT)が使用されています。HCSに関するAPPの基準は、現地分析の結果を受けた古い低木(BT)と称されるカテゴリ内で定義されます。
- APP のサプライチェーン内の自然林から2013年2月1日以前に伐採され、貯木場などに置かれている既存の丸太については、当社工場で利用されることとなります。低木地など、森林でない土地から採取された木材原料についても、当社パルプ工場で利用されることとなります。
- これらの誓約を遵守していないことが判明した供給会社については、APP は購入を取り止め、その他の契約を破棄する所存です。
- これらの誓約はフォレスト・トラストの監視下にあります。APP は独立した第三者監視機関による履行状況の確認を積極的に受け入れます。

### 泥炭地管理

**遵守方針 2:** APP は、インドネシア政府の低炭素排出開発目標と温室効果ガスの排出削減目標を支持します。これらは以下の取り組みによって達成されます。

- HCVF および HCS 森林保全の誓約の一環として、泥炭林地を保護します。
- 泥炭地内での GHG 排出を削減・回避するため、最善慣行管理を採用します。その実現に向けた一歩として、泥炭地における原料供給会社の未開発コンセッション内では、泥炭地の専門家の意見を含む独立した HCVF 評価が完了するまで、運河その他のインフラ作業は行いません。

## 社会およびコミュニティとの関わり

**遵守方針 3:** APP は、サプライチェーンにおける社会的紛争の回避・解決に向け、市民団体を含む広範囲なステークホルダーの意見やフィードバックに積極的に耳を傾け、取り入れながら、以下の一連の原則を実行していきます。

- 先住民族や地域コミュニティの「Free and Prior Informed Consent（自由意志に基づいた事前の合意、FPIC）」
- 苦情への責任ある対応
- 責任ある紛争解決
- 地域、国内、国際的なステークホルダーとのオープンかつ建設的な対話
- コミュニティ開発プログラムの積極的推進
- 人権の尊重
- 従業員の権利の尊重
- すべての関連法および国際的に認められた認証規定・基準の遵守

APP は新たに植林を提案する地域において、慣例上の土地の権利を含め、先住民族や地域コミュニティの権利を尊重します。APP はこの誓約に基づき、独立した HCVF 評価を尊重するとともに、ステークホルダーと協議して FPIC を実践するための追加措置を講じます。

APP は、NGO その他のステークホルダーの協力を得ながら、FPIC や紛争解決に関する手順および方法を国際的な最善慣行に準拠させていきます。

## 第三者供給会社

**遵守方針 4:** 世界中から木材原料を調達している APP は、この調達活動によって責任ある森林管理に貢献するための手段を推進していきます。

## 既存の植林地における生育および収率

APP の原料供給会社の植林地域の生育および収率に対する最近の独立評価の結果、当社は自社パルプ工場の長期的需要予測を満たし得る十分な植林地資源を保有していることが確認されています。